



今週号の主な内容

〔特集〕認知症に挑む プランナー:川島隆太  
 ・カラー解説「認知症医療の今(池田学)」.....2,19面  
 ・新春座談会「認知症は予防できるか」  
 (川島隆太 本間昭 朝田隆 久野譜也).....3 6面  
 ・寄稿(荒井啓行 古川勝敏/赤坂浩).....7 8面  
 2006年の学会・研究会一覧 ...9 13面  
 新春随想 .....14 15面

第一次ベビーブーム世代が前期高齢者(65-74歳)となる2015年以降 日本は未曾有の超高齢化社会に突入する。それに伴い 現在約169万人と見込まれる認知症高齢者は同じく2015年には250万人になる見通しだ。厚生労働省は2005年から「認知症を知り 地域をつくる10カ年構想」を打ち立て、2005年4月-2006年3月までを「認知症を知る1年」と位置づけた。いまだ治療法が明らかになっていないアルツハイマー病をはじめ、認知症の予防・治療は困難を極める。認知症への医学的アプローチはどこまできたのか、また認知症患者・家族に対し医療者は何ができるのか。本特集では 2006年現在における認知症医療について概観したうえで 特にその予防に注目する。

# 認知症に挑む

プランナー 川島隆太 (東北大学教授・脳科学)



## 認知症医療の進歩はどこまできたか?

カラー解説「認知症医療の今 疾患別ケアと医療」 池田学(愛媛大学助教授・神経精神医学).....2,19面(カラー)

## 認知症予防の可能性は?

座談会「認知症は予防できるか」 司会=川島隆太

本間昭(東京都老人総合研究所・認知症予防対策室) 朝田隆(筑波大学教授・精神医学) 久野譜也(筑波大学助教授・スポーツ医学).....3-6面

## 認知症治療・予防のエビデンスは?

MCI(mild cognitive impairment;軽度認知機能障害)の概念と生活習慣病対策 荒井啓行 古川勝敏(東北大学先進漢方治療医学).....7面

## 国・自治体は認知症に対してどのような取り組みを行っている?

認知症対策の推進と認知症を知り地域をつくる10カ年構想 赤坂浩(厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室長補佐).....8面